

保険医療材料制度に関する意見

平成21年7月15日
中央社会保険医療協議会
保険医療材料専門部会資料

専門委員

松村 啓史

(1) イノベーションの適切な評価

革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略

(内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)

「一部の既存製品については、適切な評価となっていないとの指摘がある。」

「新規特定保険医療材料価格算定あたってはイノベーションの適切な評価を行う。」



成長産業の牽引役に

※骨太方針2008

※新医療機器・医療技術産業ビジョン（厚生労働省）

イノベーションの適切な評価については継続して検討すべき

(2) 医療機器の安定供給

- ・ 安定供給は企業にとって重要な使命**
- ・ 現行の機能区分方式は、価格引下げには一定の効果が見られるが、製品の機能（医療現場での評価）に関わらず同一区分内は一律引き下げられると言う弊害も存在する**
- ・ 償還価格の下落が著しい機能区分では、今後、資金力に劣る中小企業は撤退も想定される**

不採算品目の償還価格引き上げ等、安定供給に支障を来たす恐れがある機能区分には、何らかの方策を検討すべき



(1) (2) の根本的な解決策として、現行の機能区分方式の見直しを検討してはどうか

(3) 為替問題について

- ・リーマンショック以降、急激な円高
- ・外国価格参照による再算定は国内企業に影響大

平均為替レートの計算期間を延ばすなど運用ルールを見直してはどうか